

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
340002	X-21-B-2-340002	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年	
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	
日本政治史	中村 起一郎							

授業目的

私たちの身の回りにはたくさんの「権力」があるが、その中でもとびきり強大なのは、国家権力であろう。中央政府のつくる制度や政策は、私たちの生活に非常に大きな影響を与えている。

日本において、そのような強大な権力はどのようにして作られるのか。また、私たちはそれをどのように制御し、あるいは関与することができるのか。この講義では、日本の統治のあり方の特徴と課題がどのように変わってきたか（変わっていないか）を、国際比較を踏まえながら歴史的に分析する。「政治家は無能だ」「どこに投票しても変わらない」と嘆く前に、知るべきことはたくさんある。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション（1） 21世紀のアフガニスタンから19世紀の日本を考える
【前・後】予習復習に4時間充当（以下同様）。授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第2回

【授】大日本帝国憲法前夜 統治の制度化のプロセス
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第3回

【授】大日本帝国憲法（1） 大日本帝国憲法の構造－天皇独裁国家か？
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第4回

【授】大日本帝国憲法（2） 明治国家の政治過程と統治エリート
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第5回

【授】戦前の民主主義（1） 議会の始まりと政党
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第6回

【授】戦前の民主主義（2） 政党政治の定着
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第7回

【授】戦前の民主主義（3） 政党政治の崩壊
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第8回

【授】戦時体制と戦前戦後連続論
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第9回

【授】日本国憲法と戦前戦後断絶論
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第10回

【授】自民党一党優位体制（1） 思想・政策・人材
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第11回

【授】自民党一党優位体制（2） 派閥政治
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第12回

【授】自民党一党優位体制（3） 政官関係
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第13回

【授】自民党一党優位体制（4） 国会と野党
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第14回

【授】政治主導の時代（1） 行財政改革
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第15回

【授】政治主導の時代（2） 官邸主導
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第16回

【授】試験
【前・後】講義ノートをもとに試験の復習

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							100
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

定期試験の評価を基本とするが、 α として、授業内レポート（コメント）や授業への参加などの要素を加味する。

授業内レポート（コメント）の一部は、次の授業で共有する。

教科書参考書

教科書は特に指定しない。基本的な事実を確認するために、高校の日本史・世界史の教科書および用語集を頻りに参照してほしい。その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。日本政治史の流れを追うには、以下の本が参考になる。

北岡伸一『日本政治史』有斐閣、2011年

受講に当たっての留意事項

政治学、日本政治論、国際政治学を受講済み、または受講中であることが望ましい。私語は厳禁。質問は授業中でも授業の前後でも歓迎します。

学習到達目標

- 日本の政党政治の発展や挫折の経緯を歴史的条件を踏まえて理解する。
- 政策決定過程の複雑さを理解した上で、批判的に検討する視座を養う。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習